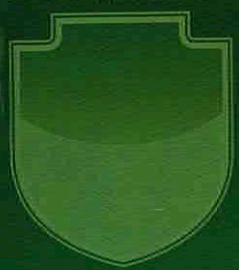


DOMMUNE



# UKAWANA NAOHIRO

## EXHIBITION

### FINAL MEDIA THERAPIST

# @ DOMMUNE



## 宇川直宏展

Final Media Therapist @ Dommune

2023(令和5)年9月10日(日) - 11月5日(日) ●休館日:月曜日(ただし、9月18日(月祝)、10月9日(月祝)は開館、翌9月19日(火)、10月10日(火)は休館)

●開館時間:10:00~18:00(入館は17:30まで) 観覧料: ●一般1,000円 ●高校・大学生および65~74歳800円 ●中学生以下および75歳以上無料

●一般以外の方(無料、割引対象者)は年齢等の確認できるものを受付にてご提示ください。●20名以上の団体は、一般800円 高校・大学生700円 ●障害者手帳をご提示の方(介添者1名まで)は、一般500円 高校・大学生400円



練馬区立美術館  
NERIMA ART MUSEUM

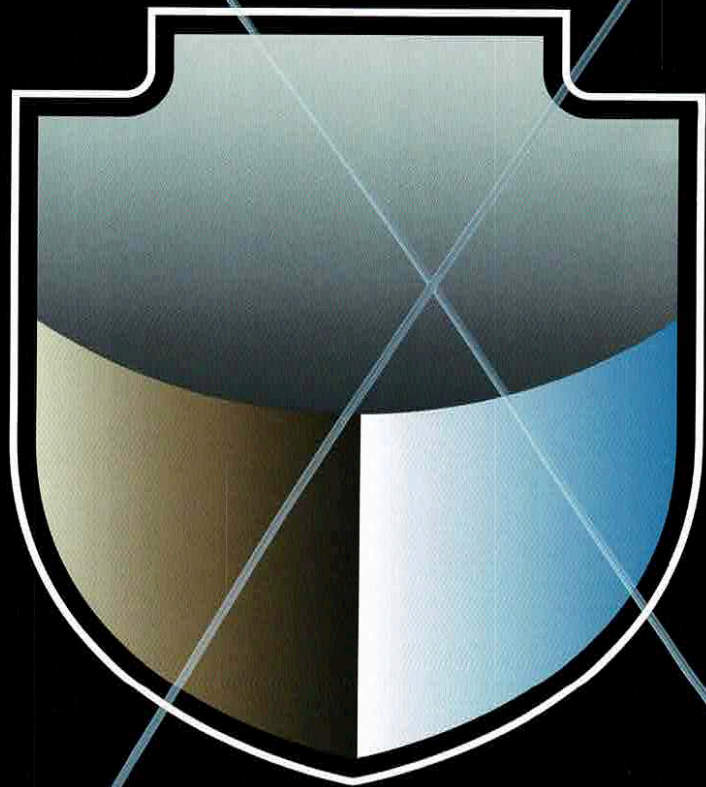
●主催:練馬区立美術館(公益財団法人練馬区文化振興協会)、DOMMUNE 株式会社  
●協力:株式会社 Rhizomatiks、ANOMALY、池上通信機株式会社、BRDG / VRDG

UKAWA NAOHIRO EXHIBITION

Photo by Toshio Ohno (L. MANAGEMENT)

# FINAL MEDIA THERAPIST

# DOMMUNE



AI時代の創作において、一体作家  
ストリーミングを装った、現代メ

宇川直宏(1968年～)は、1980年代末より映像作家、ク  
たる活動を展開するアーティストです。1990年代より活動  
を発表してきました。2010年には世界に先駆けてライブスト  
毎夜、多種多様なトーク、DJプレイ、ライブトークセッション  
な影響を与えています。宇川はスタジオで日々産み出される  
術表現”と位置づけています。また宇川は日夜配信を続け  
様々な”現代メディア”の盛衰に対し、オルタナティブの側か  
本展では、13年間のDOMMUNEの膨大な番組アーカイブを  
立体作品など他のメディアに拡張・変換・創造し、“描く”と  
その過程で介在するのは、宇川自らだけでなく、日々の配  
を持つ人々、そして人工知能。アーカイブの様々な可能性  
による画像生成にも着目し、描くとは何か、今世紀的な作  
値とは何かなど、“近代・現代・現代美術”を新たに捉え直す  
トコントラクトによる所有や販売などのプロセスを独自考  
制作も行います。また会期中には美術館を舞台としてライ  
組に参加することが可能です。

毎日大量の人々が行き交うプラットフォームであり、芸術  
を、様々に変換し時空を錯綜しながら眺める試みは、仮想  
散的サイバー空間の投影など、Web3.0以降の社会を取

1. 「生成AI」。画像や動画、楽曲やプログラムのコード、文章などクリエイティブな
2. 情報通信ネットワーク上の取引記録を、暗号技術を用いて処理・記録するデー
3. ブロックチェーンシステム上の概念。あらかじめ設定されたルールに従って、第
4. NFT(ブロックチェーンを利用して発行する非代替性の暗号資産)の技術を活
5. 通信インフラの整備や端末の普及によって場所を選ばずにインターネットに接
6. プライバシーやセキュリティなど問題を解決するために構想された、ブロックチェ

DOMMUNE TEROP ARCHIVES2.3,5 Designed by UKAWA NAOHIRO



DOMMUNE TEROP ARCHIVES2.3,5 Designed by UKAWA NAOHIRO